

道 徳

東 京 書 籍
教 育 出 版
光 村 図 書 出 版
日 本 文 教 出 版
光 文 書 院
G a k k e n

令和5年度

中高・飯水地区小学校教科用図書採択研究協議会

種目（道徳）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">東京書籍（新編 新しい道徳）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全教材に自己を見つめる発問が示され、自分とのかかわりで考えを深める学習が展開できるように工夫されている。 ・教科の目標を達成するために必要な内容を35の教材に振り分けて的確に構成されている。 ・教材のねらいに即して適した学習活動を提示してあり、目標を達成しやすいように配慮されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘索性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、イラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 叙述の読み取りを助けるために発達段階に応じた写真やイラストの効果的な配慮により、教材の内容を十分に理解し学習が進められるように工夫されている。 (2) 冒頭を内容項目の視点と教材名に絞ることで、学級の実態に応じた柔軟な展開ができ、道徳的価値に迫る工夫がされている。 (3) 教材末の「考えよう」では、教材ごとにねらいに即した簡潔な発問を2点に絞って示してあり、それを起点に考えを深められるよう工夫されている。 (4) 各学年「考えるためのツール」が巻末にあり、自らの思考を客観視できる手立てとなっている。 (5) 弱視やディスレクシアに配慮したUD デジタル教科書体が採用され、字体が濃く見やすい工夫がされている。また、吹き出しの利用などで児童が読みやすさを感じたり、意識の揺さぶりに繋がったりするような工夫がされている。 (6) 内容理解を助け意欲的に考えられるよう、発達段階に応じてイラストの表現が適切に選択してある。挿絵は大きく描かれていたり、写真の配置が分かりやすいように配慮されていたりする。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 低学年では絵や写真、中学年では身近な教材文、高学年では多様な教材が、発達段階に応じて適切に配置され、道徳的価値を多様な形で学べるよう工夫されている。 (2) 学校行事や児童の生活実態と重ねることができる教材が選択されており、全体計画に基づいた指導計画を効果的に作成できる構成となっている。 (3) 現代的な課題の五つのユニット（いじめ、いのち、じぶん、情報モラル、安心・安全）が全学年で示され、他教科と横断的に連携させながら学習展開しやすいよう工夫されている。また、教材とコラムがセットになっており、より深い学びになるよう工夫されている。 (4) 道徳的価値に迫るための場面の状況がより深く把握できるよう叙述と挿絵のレイアウトが工夫されている。 (5) ICT 端末を利用した「デジタルノート」だけでなく、教科書に直接書き込める教材もあり、児童が自らを振り返って成長を実感したことを把握できるよう工夫されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・冒頭の情報量を減らし先入観なく教材を読める工夫や、叙述を助ける挿絵の大きさや配置の工夫、厳選された2つの発問の提示など、簡潔な構成のため実態に応じ柔軟に活用できる。 ・児童の生活実態に即した指導内容と指導時期が考慮され、特に現代的な課題については五つのユニットに分け全学年同時期に配列され、教科等横断的な学びが実現できるよう工夫されている。

種目（道徳）

<div style="text-align: right;">発行者名</div> <div style="text-align: left;">採択基準</div>	<p style="text-align: center;">教育出版（小学道徳 はばたこう明日へ）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冒頭に内容項目の視点を示した上で、同じ内容項目の教材が、時期を変えて配置され、より深く、新たな観点で、児童が自己を見つめられる工夫がなされている。 ・ 教材末の「深めよう」では、児童が自分事として考えることで、自己の生き方について考えを深められるように配慮されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 低学年では物語教材、中学年では生活教材、高学年では人物教材を重点的に扱うなど、発達段階に応じた配慮がなされている。また、挿絵が大きく描かれており、読み取りの手助けになっている。 (2) 導入部に羊のキャラクターによる吹き出しや二次元コードがあり、道徳的価値や教材内容へのスムーズな導入が意識されている。 (3) 「問題を解決しよう」が年間で4つ設けられ、自ら問題を見付け、主体的に考えられるような発問で、友達・自分と対話しながら思考・判断力が高められるように配慮されている。 (4) モラルスキルトレーニングなど体験的な活動が複数回取り入れられ、多面的・多角的に考えられるような構成がなされている。 (5) 教材本文部とルビ部で異なったフォントの使用、当該学年の漢字や固有名詞などが登場する度に振り仮名が付けられている、番号をつけて整理された脚注など、発達段階に応じた配慮がなされている。 (6) 各学年の重点テーマが扱われている目次やページには、黄色の枠が付けられ、児童が重点テーマを意識する工夫がされている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 学年に応じ、物語教材、生活教材、人物教材のバランスが配慮され、他教科や特別活動との連携を示すなど、児童の発達段階や教育活動全体を意識した多様な教材が配置されている。 (2) 本教材 30 本+補充教材 5 本で構成され、補充教材に替えて、地域の偉人や風習、自作教材を扱うなど、地域や児童の実態に応じた指導計画を作成できるよう配慮がなされている。 (3) 重点テーマが全学年共通、学年ごとにも設定されており、複数の教材とコラムを合わせユニット化されており、多面的・多角的に考えることを促す工夫がされている。 (4) マンガ形式で並べられた絵、見開き全面のイラストなど、自由な発想を促し、内容理解につながるような配慮がなされている。 (5) 各教材末の振り返り欄、巻末の振り返りページなど自己を振り返る機会が複数あり、そこから児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握できるよう工夫されている。特に各教材末の振り返り欄は、教師の評価にも効果的である。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「やってみよう」では、動作化や役割演技など、多様な視点から物事を見つめ、多面的・多角的に考えられる工夫がされている。 ・全学年、各教材末に「学習のてびき」が設定され、児童が考え、議論しながら、今までの自分と重ねながら考えを深められる発問が用意されている。

種目（道徳）

<p style="text-align: right;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>光村図書出版（道徳 きみがいちばんひかるとき）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科の目標を達成するために必要な内容項目について、35の教材が平均的に割り振られ盛り込まれている。 ・各学年冒頭の「道徳が始まるよ」で、道徳の内容の視点と内容項目とが児童に分かりやすい言葉で示され、学習全体を俯瞰できるように工夫されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 児童の発達段階に合わせて、学年に応じて重点的な内容項目が設けられ、確かな学習経験となるよう配慮されている。 (2) 吹き出しでキャラクターの言葉を示し児童の意欲を高めている。 (3) 各学年最初の教材に付いている「道徳の学び方」で、教材への向き合い方を示し、児童がより主体的に学べるよう工夫されている。また、教材末に「考えよう・話し合おう」が設けられ、段階的に学びを深めたり、自分自身との関わりについて考えたりできるよう発問が工夫されている。 (4) 教材の文中、教材末に「演じて考えよう」が設けられ、体験的な学習を通して、実感をもって考えが深められるよう配慮されている。 (5) 他教科の教科書と同じ B5 変型判を用い、本文を光村教科書体で示し、手に取ったり読んだりしやすいように配慮されている。 (6) 配色鮮やかで、登場人物のイラストの表情が分かりやすい。また、色の違いだけでなく文字の説明を加える配慮がされている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 読み物教材だけでなく、漫画形式の教材、見開き1枚の絵や写真からなる教材など、多様な教材が位置づけられている。 (2) 多くの学校で行われている活動や行事を題材にした教材が位置づけられ、学校の実態に応じて指導計画を作成できるよう配慮されている。 (3) 現代的な課題について、教材（1,2つ）とコラムで構成したユニットで丁寧に扱えるようにし、6年間でSDGsの17の目標全てに触れられるよう配慮されている。 (4) 挿絵に登場人物名を添え、教材の内容把握に負担を感じさせないように配慮されている。また、「考えるヒント」で、様々な学習活動や思考ツールを紹介し、多面的・多角的な学習指導に生かせるよう配慮されている。 (5) 巻末折込みの「学びの記録」にシールを貼ったり、感想を書き込んだりして自己評価を行い、児童が自分の変化や成長を自覚している様子を把握できるように配慮されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各教材は、キャラクターによる呼びかけの導入から始まり、「考えよう・話し合おう」「つなげよう」とで構成され、問題解決的な学習、体験的な学習が可能となるよう構成されている。 ・多様な教材により児童が様々な道徳的価値に触れ、発達段階に合わせて対話する力を育み、教材を通して学んだことを自分に引き寄せて考えることができるよう配慮されている。 ・検討結果から総合的に判断すると、教えやすさ・学びやすさについて、優れていると考える。

種目（道徳）

<p style="text-align: right;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">日本文教出版（小学道徳 生きる力）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ いじめ防止ユニットとして、間接・直接的に扱う教材とコラムを組みあわせ、自己のあり方を見つめられるよう工夫されている。 ・ 話し合いや役割演技など、体験的に学ぶ多様な学習方法が示されており、多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。 ・ 各教材の末に2点の発問の提示とさらに考えを深める資料を掲載し、自己の生き方について考えを深める工夫がされている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、イラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 写真・絵のスペースを大きくとり、文章とバランスを工夫し、児童が取り組みやすいように配慮されている。 (2) 教材冒頭に内容項目に関するリード文・登場人物・キャラクターの吹き出しを示し、内容の読み取りを容易にするとともに、見通しをもって学習を進められるよう工夫されている。 (3) 「中心発問例」と「自身を振り返る発問例」の2つを端的に示し、学び方がわかりやすいように工夫されている。 (4) 役割演技・言語活動・図式化等の、体験的に学ぶ学習を盛り込んで、多面的・多角的に考える工夫がされている。 (5) 文字が見やすいUDデジタル教科書体を使用している。 (6) 学び方の動画や、思考ツールを入れた道具箱などのデジタルコンテンツが充実している。 (7) 心のベンチ（関連教材）を取り入れ、他教科等との関連を図りながら、より思考を深めていける配慮をしている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 児童が自分ごととして捉えやすいよう、現代的な課題への対応を考える教材、身近な学校生活と結び付けて考える教材が多く配置されている。 (2) 年間35時間分の教材の他に3教材が収められ、実態に応じて教材を選択できるよう配慮されている。 (3) いじめを間接的に扱った教材ユニットを年間3回設定し、いじめを許さない心を育てる工夫がされている。 (4) 別冊の道徳ノートが用意され、学習の積み重ねと振り返りができるよう配慮されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材冒頭に内容項目に関するリード文・登場人物・キャラクターの吹き出しを示し、内容の読み取りを容易にするとともに、見通しをもって学習を進められるよう工夫されている。 ・ 学び方の動画や、思考ツールを入れた道具箱などのデジタルコンテンツが充実している。

種目（道徳）

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	光文書院（小学道徳 ゆたかな心）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・各教材の冒頭に「問い」を提示し、児童が自己を見つめ、問題意識を明確にした上で学習できるように配慮されている。 ・題材ごとに「かんがえよう」で思考を促す問いが示され、「まとめよう」「ひろげよう」でまとめと発展を促す問いが示され、学びを振り返り、自己の生き方についての考えを深められる工夫がされている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等 </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 自分のこととして考えやすい話題や、人間としての生き方に迫る話など、多様な教材が発達段階に合わせて適切に配置されている。 (2) 一枚絵や写真、漫画などの表現方法を取り入れ、児童の興味・関心を喚起し、日常生活や自分との関わりを意識付けることで、道徳的価値の追求に結び付ける工夫がされている。 (3) 各教材にある2種類の「かんがえよう」の発問を通して児童が自ら考え、主体的・対話的に学習できるような工夫がされている。 (4) 学年冒頭の「いろいろなやり方で考えてみよう」の思考ツールの活用方法紹介の中で、体験的な学習について提案されている。 (5) 文章の読みやすさを考慮し、漢字は前学年までに習ったものを使用し、必要に応じて言葉に脚注を付けるなどの配慮がされている。 (6) 必要に応じて教材の始めに、登場人物が挿絵付きで紹介されており、内容理解の助けとなっている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価 </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 学年ごと設定された「重点主題」を、発達段階に応じて6年間系統立てて指導できるよう多様な教材が配列されている。 (2) 各学年とも40本の教材が掲載されており、指導計画に応じて選択ができるなど、学校や地域、児童の実態に合わせた多様な指導に対応できる配慮がされている。 (3) いじめなど現代的な課題については、全学年ともテーマごと教材が続けて配置され、児童がそのテーマについて深く考えることができるよう工夫がされている。特に「へこんでも立ち直る力」は、特徴的な主題である。 (4) さし絵や写真は、教材の内容理解を助けるものとして、大きさが適切に配置され、特に二次元コードが付いた教材では、動画を視聴できるなど、学習指導に生かせる工夫がされている。 (5) 巻末に、学年の発達段階に応じた自己評価シート「学びの足あと」を設け、1時間ごとの振り返りだけでなく年間の初めと終わりの記入欄を位置づけており、1年間振り返りを重ねていくことで、教師が児童の学習の様子を把握できるよう工夫がされている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての教材末にある「広げよう」の発問では、学びを振り返り自己の生き方について考えを深めながら、道徳的実践力を養う機会となるように配慮がされている。 ・各学年とも40本の教材が掲載され、実話をもとにした魅力的な教材も取り入れている。また、コラムを適所に配置し、学校や児童の実態に沿った多様な指導に対応できるように配慮がされている。

種目（道徳）

<p style="text-align: right;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">Gakken（新版 みんなの道徳）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各教材に主題名を示さずシンプルな構成にして、主題による先入観を持たずに、児童が多様な考えを持つことができる。 ・発問を精選し道徳的な判断力や心情、実践意欲と態度を育てる配慮がされている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 文章による教材に合わせ役割演技を取り入れるなど、活動が多様になるよう工夫されて、より内容を深く理解しやすいよう配慮されている。 (2) タイトル下に教材文中の印象的な言葉（キーフレーズ）を配置し、児童の関心を高め、スムーズな導入をはかれるように工夫されている。 (3) 各教材の末に2つ「考えよう」（発問）が短い文章で示され、児童にとって問われていることが分かりやすく、自由度をもって考えを広げられる工夫がされている。 (4) すべての教材が見開きで始まり、カラーイラスト・写真が適切に配置され、教材の内容把握がしやすいよう配慮されている。 (5) 読み手と同学年の人物を主人公として複数の教材に渡り登場するようにしてあり、情景把握の助けとなるよう工夫されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 「いのち」をテーマにして教材を組み合わせたユニットを設け、多面的・多角的に考えを深める工夫がなされ、年間を通じて「いじめ防止」に関連する教材が配置されている。 (2) 地域教材や現代的な話題を配して、興味関心を高めながら自分の思いをもち他者と対話的に考えを深められるよう配慮がなされている。 (3) 児童自身でよりよい生き方を広く深く学べるよう、自分事として課題に向き合える教材と厳選した発問が配列されている。 (4) メモ欄・巻頭巻末の「自分の記録」や「学びの記録」で、自分の考えや成長を記録でき、思考の足跡を共有できる工夫がなされている。 (5) 学習のまとまりを「わたしのこと」「あなたとわたし」「社会とわたし」「命や自然とわたし」と表現し、学習内容を「わたしとの関係」で示し、児童に学習の意味をとらえやすくしている。 (6) 「心のパスポート」（関連読み物や資料など）を入れ、教材とつなげてさらに考えを深める工夫がはかられている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教材が、題名と教材文中の印象的な言葉（キーフレーズ）で始まり、児童の関心を高め、スムーズな導入をはかれるように工夫されている。 ・教材末に「考えよう」を2点に絞って示すことで、問われていることが分かりやすく、自由度をもって思考し、深く追究できるよう配慮している。